



こうほう ショッキング

Vol,99

Kōhō shocking



とう きいち
藤 貴 一 さん

●プロフィール

34歳 美津島町雞知出身、在住。対馬高校卒業後、長崎県長与町の高等技術専門学校へ。1年間の建築科課程を修了し、19歳で帰郷。測量の仕事に従事する。21歳の時、結婚を機に転職。現在、小浦のパチンコ店アリス店長。妻と3人の息子、義母との6人暮らし。

○学生時代はどのような活動を？

中学生の時はバレー部に所属していましたが、美津島町の野球クラブが発足し、そちらでも活動していました。高校では野球部に。このコーナーで前々回に紹介された整骨院経営の木村真吾くんとは、野球時代からの仲間です。僕は外野手をしていましたが、腰を痛めていたので、負担にならない一塁手や内野手に。腰の痛みの原因はよく分からないのですが、中学時代、陸上競技でリレーやハードルをしていて痛めたのかな。あまりしっかりと準備運動をしていませんでしたから（苦笑）。木村くんにも治療に来いと言われるんですが…なかなか時間がなくて。

○お子さまは3人も男の子ですね。

ええ、だから一緒にキャッチボールがしたいんですが…なかなかその時間がなくて。長男は中学生で、ソフトテニス部に入ってます。僕がやってたことなら伝えられることもあるのですが、テニスは経験ないんで。でも、最近釣りに興味を持っているので、時間が合うとたまに一緒に釣りに出かけたりします。友達にも教えてもらって、釣りに行ったりしているようです。

○ご自身は以前から釣りが趣味だったのですか？

いえ、もともと釣りは好きではなかったんです。魚を触りきらなので。それが2～3年前から、イカ釣りを始めたら面白くなって。イカは触れます（笑）。車に釣り道具を積んでおいて、仕事が終わったらぶらりとイカ釣りへ。以前は、仕事が終わると飲みに出るくらいしかありませんでしたから、良い趣味を見つけたなと思います。釣ったイカは、自宅へ持ち帰ると妻や義母が料理してくれます。釣りを楽しんで、美味しく食べられて、一石二鳥かな。最近はまだイカ釣りが人気のようですよ。アオリイ

カの引きが大きくて、面白いです。春はサイズも大きいですから、楽しさも増します。

○対馬を離れたのは1年間だけ。故郷はいかがですか？

好きですよ。対馬を出るつもりもないです。何もなければ確かにそうです。遊ぶところもないけれど、魚釣りやイカ釣りができるし、人は親切だし。子どもたちは対馬で育ってほしいなと思います。

○若い世代が対馬から離れるのは自然の流れのようになっている現在ですが。

子どもたちは、したいことがあれば島を出る時もあるだろうと思います。でも、何かしら対馬を盛り上げてほしいという気持ちはあります。僕をこのコーナーで紹介してくれた藤島くんや、木村くんのように、島外に出たのち帰ってきて店を出した、そういう子が増えたらいいなと思います。何も考えずに、ただ福岡に出たい、島を出たいという子も多いと思うんです。でも、何かしら対馬を盛り上げたいという思いを持って島を出て、それを叶えに島に戻ってきてほしいですね。

○今、一番ほしいものは？

家族旅行をする時間がほしいです。結婚式に呼ばれて沖縄に行った時も、家族は先に行って後で帰るけれど、僕は当日行ってその日帰り（苦笑）。家族でただただゆっくりと過ごせるなら、行先はどこでもいいです。くつろげる時間がほしいですね。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介します。次回は美津島町雞知にお住まいの阿比留孝洋さんです。お楽しみに。

来月号Vol,100で、このコーナーは最後になります。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。